

# 釣りを楽しむみなさんへ

釣りは、年齢や男女問わず、誰にでも気軽に楽しむことのできるマリレジャーの一つです。しかし、釣りは自然を相手にするものですから、ちょっとした油断や判断ミスでケガや命の危険性をもたうことがあることを忘れてはいけません！

楽しみ方が自由であるからこそ、個人のマナーが試されていることも念頭においておきましょう！

フローティングベストなど

## ライフジャケットの常時着用

海中転落時には、あなたの命を守ります

## 気象・海象の把握

荒れている海で無理をするのは危険です

## 複数名での行動

単独行動は、海中転落時の救命率が低下します

## 連絡手段の確保

携帯電話・スマートフォンは防水パックに入れましょう

## 海の緊急通報 **118** 番

118番は海上保安庁への緊急ダイヤルです



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

# 釣りを安全に楽しむために、必要な装備を装着しましょう！

## 【最低限必要な装備】



### ①ライフジャケット

体格にあったものを選び、ベルトやファスナーは確実に締めて、適切に着用しましょう。

### ②釣り場に応じた履物

釣り場は、水辺に近いことから苔などにより、滑りやすくなっています。滑り止め効果の高い靴底、かつ脱げにくい靴などの点をご確認いただき、適切な履物をお選びください。

### ③通信装備（防水ケース入り携帯電話）

水に濡れたり、水面に落としても沈まず使用できるように防水ケースに入れて持ち運びましょう！

## 釣り中の事故に注意！

### 【事件事例1】

事故者（ライフジャケット着用）は、友人と2名で、波高3mの中で磯釣り中、突然の大波にさらわれ海中転落した。友人は海上で手を振る事故者を認め、118番通報で救助要請し、その後、海上保安庁ヘリが救助したが、搬送先で死亡が確認された。



出発前はもちろんのこと、釣り中でも最新の気象・海象情報を入手し荒天が予想される場合は、中止や早めに切り上げましょう。

### 【事件事例2】

夜釣りにきていた男性1名が飲酒し、ライフジャケット未着用でヘッドライトも使用せず、釣りをを行い、誤って防波堤から消波ブロックが設置されている岩場に転落して、身体が強打したことによる骨折、骨折した骨による内蔵損傷等の重篤な負傷を負った。



釣りをする際は飲酒を控え、必ずライフジャケットを着用しましょう。また、周囲の確認や手元が使えるようヘッドライトを装着しましょう。